

長期シナリオプランニングと 戦略実行支援



運輸・物流業界では、激変する事業環境を踏まえ、長期シナリオプランニングとそれに応じた戦略立案が求められています。

変革期にある運輸・物流事業環境をいち早く見通すことが必要

日本の運輸・物流事業環境は、都市物流を中心に大きな変革期の渦中にあります。小売・サービス業のECチャネル強化により、個人の消費物流需要が高まる一方で、景気低迷や少子高齢化の影響で運輸・物流業界への就業人口は減少の一途を辿っています。これにより、需要を支える物流インフラの供給は厳しい制約に見まわれ、物流業界では宅配キャパシティの限界が顕在化してきている状況です。運輸業界においてもデジタル化技術革新を背景に、“MaaS*化”が進展し、都市と地方それぞれでデジタル活用による生き残り戦略が求められています。将来変化を見通し、事業環境に応じた顧客の長期シナリオおよび戦略を描くことが必要になっています。

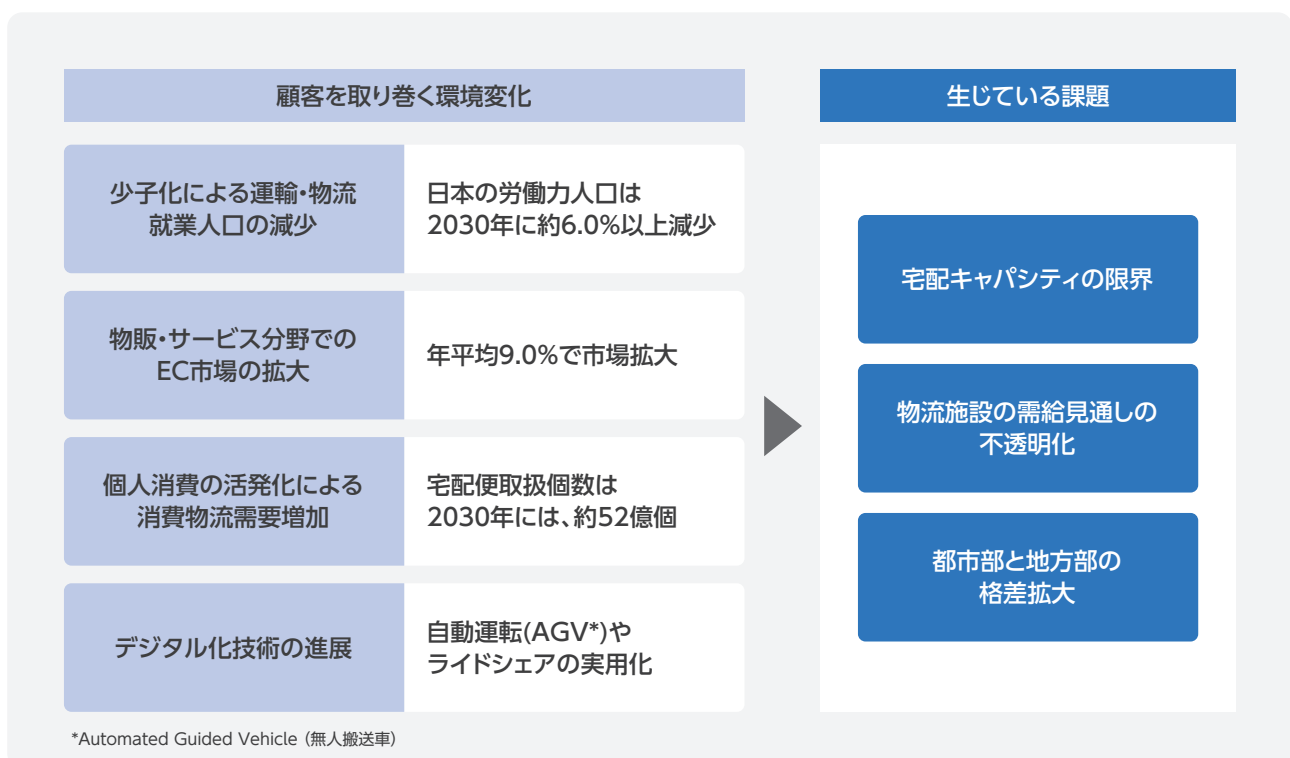
*Mobility-as-a-Service

不透明な将来を前に「変化の推進力」をキーファクターとしたシナリオ策定が有効

時代の連続性が途絶しがちな現在では、過去データの積み上げから将来を見通すことが困難となっており、運輸・物流関連の多くの事業者が、適切な戦略立案を課題と感じています。そのため、社会環境の将来変化に目を向け、そこから起こりえる将来の姿をシナリオプランニングにより複数策定し、それぞれの将来像に対してとるべき戦略立案を行うことが重要となっています。

複数シナリオを構築することで、起こりえる将来像を、一度俯瞰した上で、適切に戦略に結びつけることが可能となります。また、ひとつのシナリオに依拠した結果として懸念される見通しの外れ、それによる対応の遅れというリスクを軽減させることが可能となります。

運輸・物流業界を取り巻く環境変化と課題



NRIは、複数の将来像を描き、顧客とのディスカッションを通して、各将来像に応じた戦略導出をご支援いたします。

顧客の深い理解に基づいた、適切な要素抽出と戦略導出を支援

NRIは、シンクタンクとして社会環境の動向を詳細に洞察し、将来をナビゲートすることに強みがあり、運輸・物流業界の豊富な経験を持つ専門コンサルタントも多く有しています。その知見を集積し、①変化の推進力抽出、②評価軸の設定、③クリティカル要素選定、④シナリオ構築の4ステップでシナリオプランニングを実行いたします。複数シナリオを俯瞰して行う戦略立案・検討においても、社会調査に対する知見を持つコンサルタントとチームを組み、市場規模・需給の定量化や顧客の競争優位性を導出します。それらを踏まえ、議論を顧客と重ね、顧客ごとに最適な戦略実現につなげてきた多くの実績を有しています。シナリオプランニングによって描く将来像は予想ではないという認識を顧客と共有しつつ、複数のシナリオを見据え、戦略オプション検討までご支援いたします。

ケース：2030年の日米中の都市内物流シナリオと戦略を策定する

NRIは、部品メーカーA社とともに、2030年の日米中の都市内物流に関するシナリオプランニングを行い、それに基づいたシナリオごとの戦略上の示唆を導出するプロジェクトを支援いたしました。

A社は、将来の都市物流を取り巻く事業環境変化に合わせたポジショニングを模索していましたが、デジタル技術革新をはじめとして急速に変化する環境の中で、過去トレンドに依存した長期的な予測と、戦略立案・検討の手法に限界を感じていました。

NRIは、将来の変化の推進力たりうる要素からシナリオプランニングを行い、将来戦略について徹底的に議論いたしました。その結果、A社の事業スコープの方向性のズレが明らかとなり、業界内でのポジショニング、ターゲット顧客の修正といった戦略立案に結びつきました。

*Internet of Things (モノのインターネット)

*Artificial Intelligence (人工知能)

シナリオプランニングによる戦略策定のフレームワーク

